

Professor Greg Clingham来日講演のお知らせ

アメリカのバックネル大学 (Bucknell University) の英文科教授で同大学出版会筆頭理事のグレッグ・クリンガム氏が5月末に来日し、2週間ほどの滞日中、大阪大学、東京女子大学、早稲田大学、東京大学などで講演されます。氏は18世紀英文学が専門で、*Johnson, Writing, and Memory* (Cambridge UP, 2002)、*The Cambridge Companion to Samuel Johnson* (Cambridge UP, 1997)をはじめとする多くの編著書があり、斯界の第一人者として国際的に活躍中です。6月7日の東京大学での下記の講演は一般に開放されていますので、お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

日時：6月7日（土）13時30分より16時30分（その後、懇親会の予定）

場所：東京大学駒場キャンパス18号館4階コラボレーションルーム1

講演内容：“Enlightenment Networking: Commerce, Culture, and Craft
in the Career and Writings of Sir George Macartney ”

1793年ジョージ・マッカートニーはイギリス通商使節として中国（清）に赴きます。しかし、皇帝に対する叩頭の礼を行うことを拒否したために、相互に誤解が生じ、その後の中国とヨーロッパとの外交関係に大きな遺恨を残すことになりました。近年の研究でも盛んな旅行記研究および異文化交渉にとって重要なテーマの一つとなっているのがこの使節団の記録です。クリンガム教授は啓蒙とネットワークというあらたな視点から切り込みます。

お問い合わせ：東京大学での講演については、大石和欣氏 (oishi@boz.c.u-tokyo.ac.jp)
まで、その他については原田範行氏 (nnharada@lab.twcu.ac.jp) までお願いします。